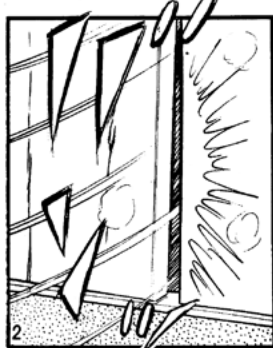


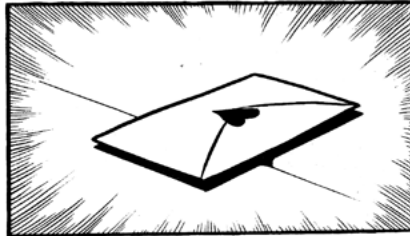
ダンプの運転手うんでんしゅのにいちゃんにいちゃんと、ふたりぼっちだ……。

ぼくは、とうちゃんもかあちゃんもない……。

チ
チ
チ







レイコ
ちゃん



キャーッ!

なんつうたら
どうしよ!
どうしよ!!



この手紙
見たら
なんて
いうかちら

レイコ
ちゃん
.....

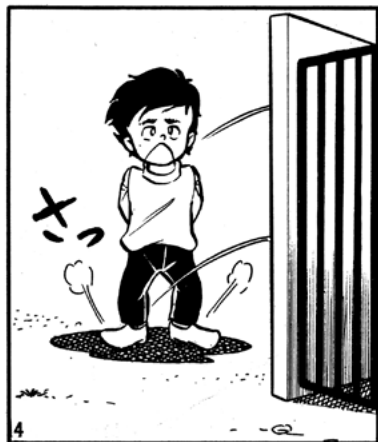
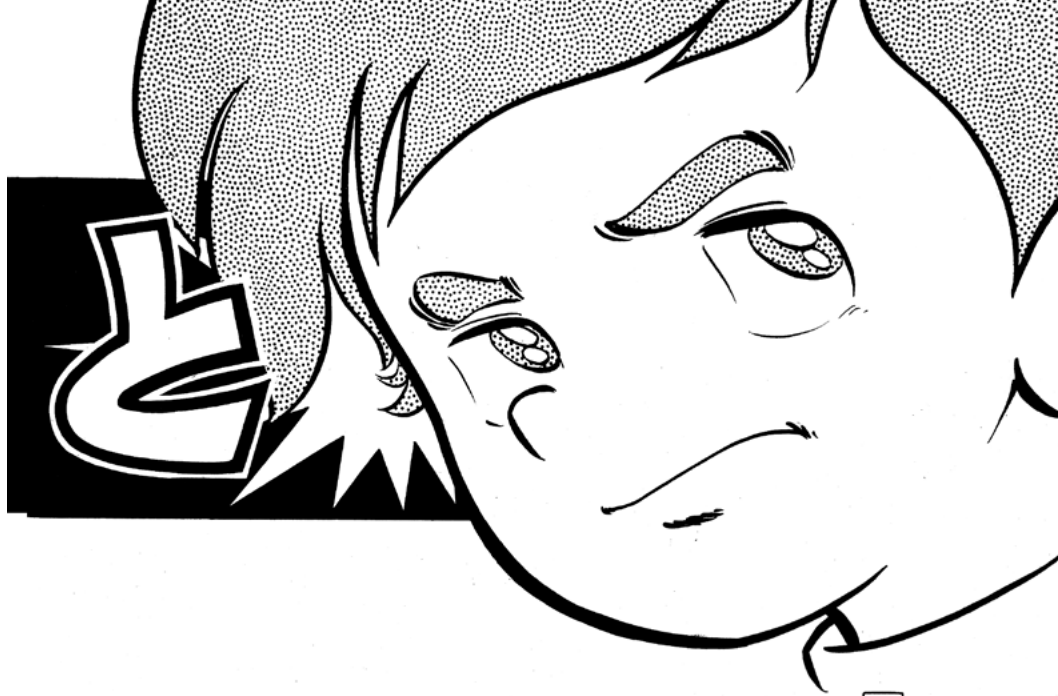


はなごころ



わたしも
すきよ

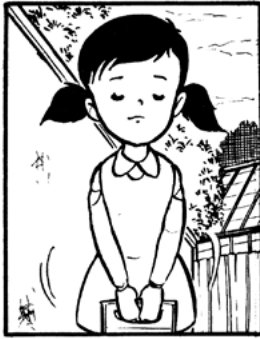
顔をポツと
赤らめて



あにおとろ

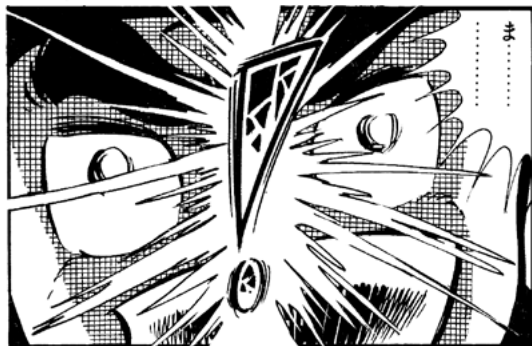
しの ぼり やき お
篠原 幸雄

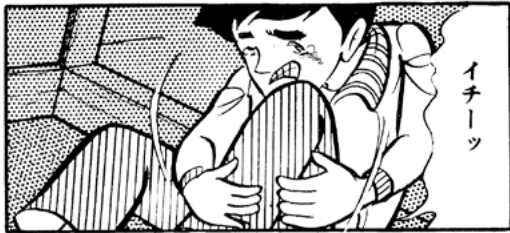
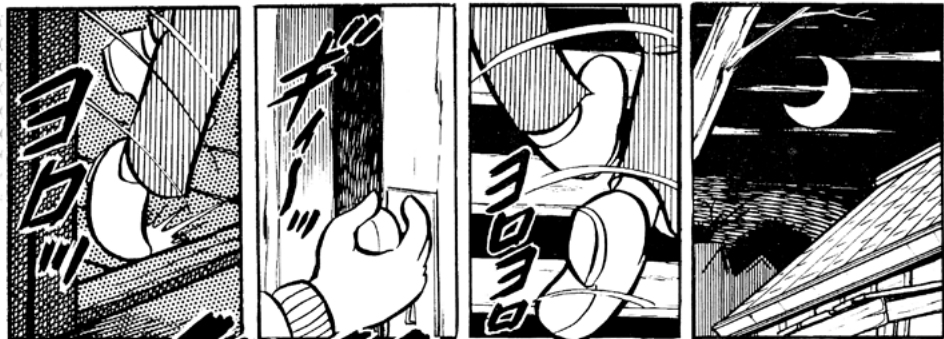








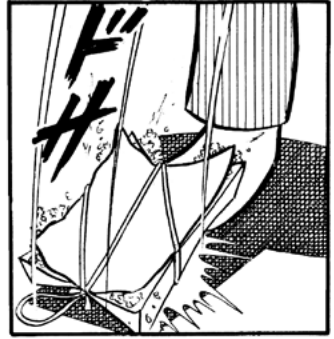








まさか
おまえ
それを
警察で
いったんじゃ
ないだろう
な!!



なんで
あんなむちゃな
運転したんだよ
にいちゃん
らしくもない
じゃない……

へっ
じょうだん
いうなよ



あの道は
大型車は
通っちゃ
いけない
だってね

それに
ぶつかったとき
時速六十キロ
ぐらいだったん
だってね

警察じゃ
これで事故
おきななきゃ
おかしいって
よ



にいちゃん
!



うら道を
ぶつとばす
ぐらい
じょうしき
さ

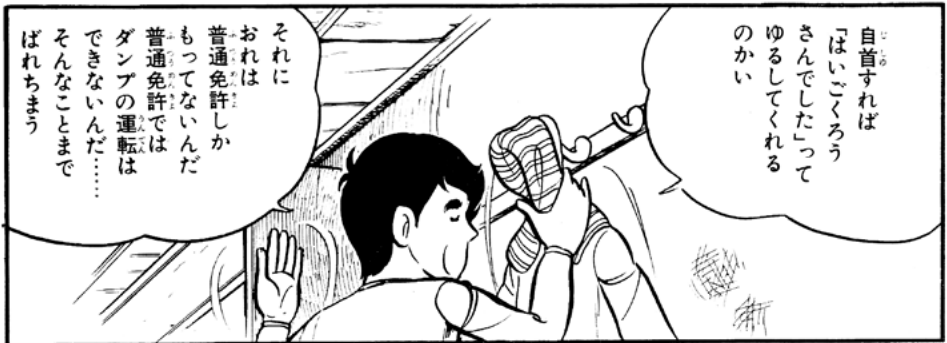
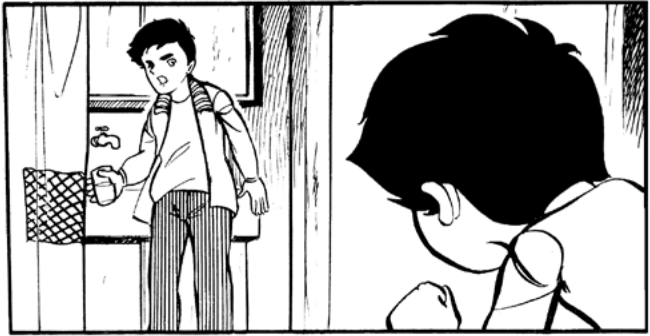
一時間でも
二時間でも
早くついて
回をふやさ
なくっちゃ
もうからんだ

たまには
ゆっくり
やすみたい
しな



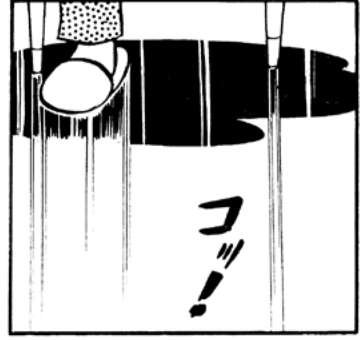
自首
してよ

にいちゃん
!

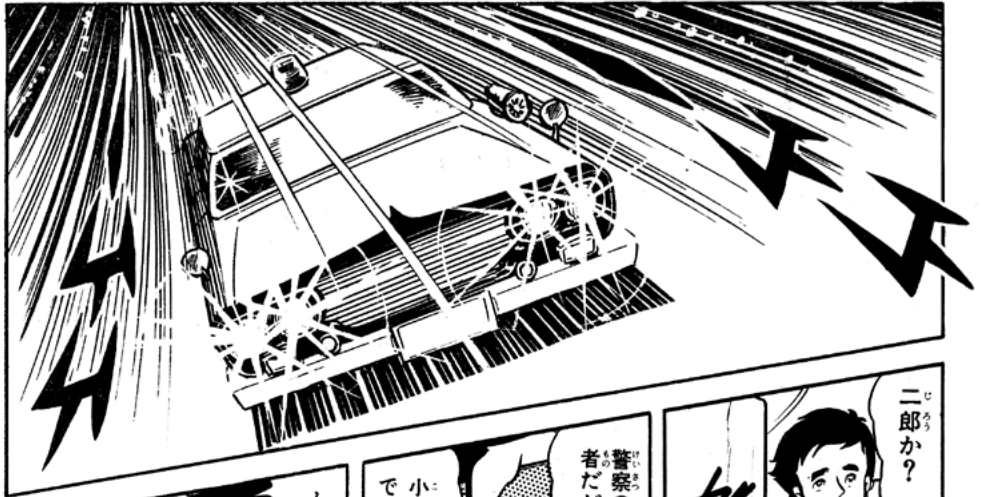












わっ

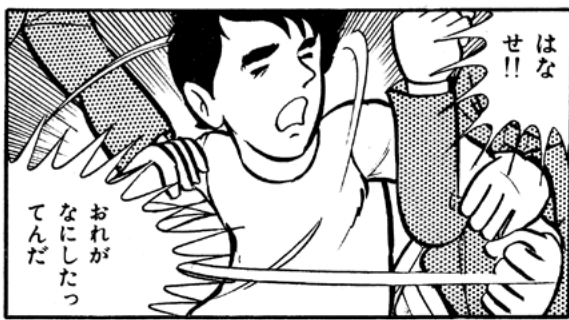


小池一郎さん
ですね

警察の
者だが

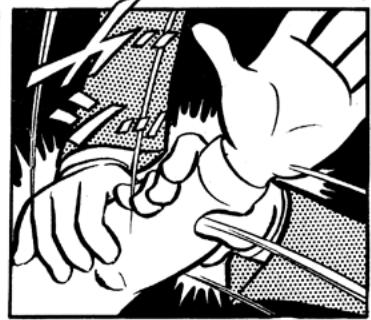


二郎か？



はな
せ!!

おれが
なにしたっ
てんだ



うっ



はな
せよ!

いてーっ

おっこちる
じゃ
ないかよー



お……
おれを!!



おまえ……

二郎



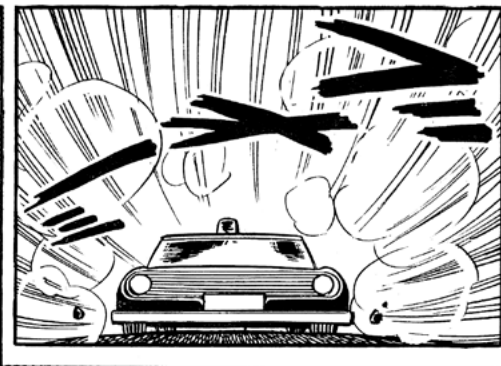
学校にも
ろくにいかず
なんのために
おれが
あんなに
はたらいてきたと
思ってた!!

そうさ
おれにできる
ことなら
なんでもやった
年齢がたりな
けりやあ
ごまかした
こともあるさ

二郎
おまえだけには
ちやんと学校へいって
まともな生活を
してもらいたかった
からなんだ



みんな
おまえの
ために
やったこと
じゃ
ないかよ!



ほんとだよ
自分のに
いさんの
ことじゃないかさ

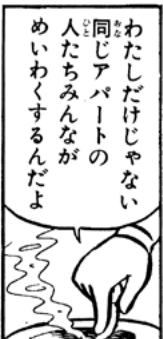
だまってりや
いいのにねえ

へっ
ばかだよ

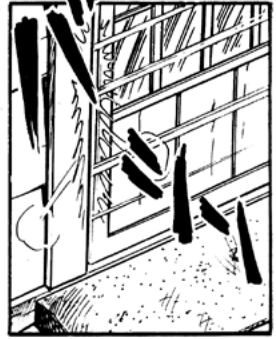
これで
よかつたんだ
.....



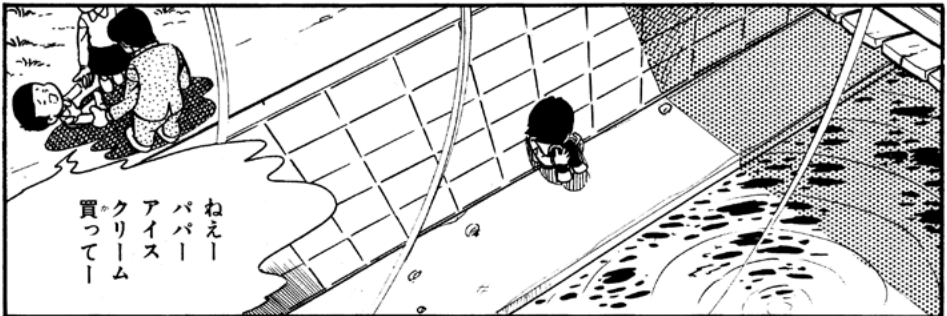
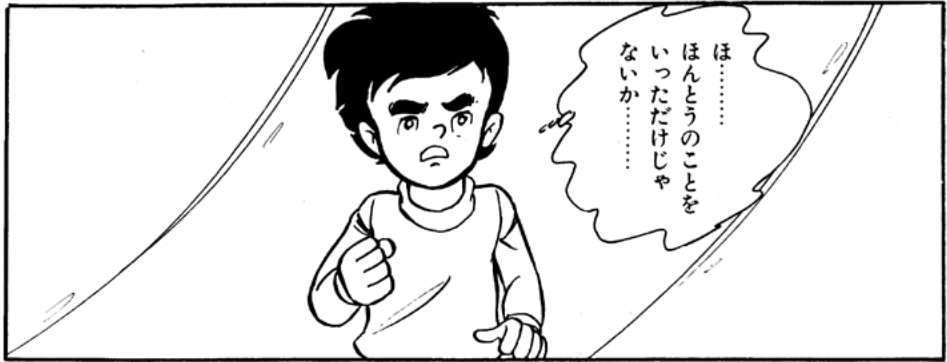
これで
.....



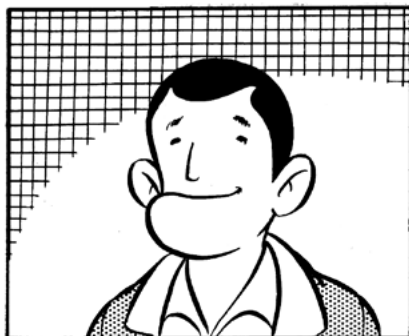












わかる
わかるぞ
おまえの
きもちが
よくわかる
ぞ

だがな
いまのおまえ
にとって
北海道ほくかいどうにいくのが
いちばんいいんだ



おれのことを
心配だなんて
いわせないぜ



いまさら
なににしに
きたんだ
よ



でも……
それは……

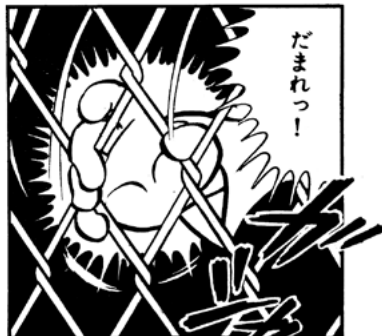


おれのことを
心配だったら
はじめつから
こんなことには
ならなかった
ろうからな



北海道ほくかいどう
やらへ
とつとと
いっちなまえ!!

おまえ
なんかと
話すことは
ねえ!



だまれっ!

